

発起人代表 NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会 城代家老 宮下省二

平成18年4月、4市町村が合併して新生上田市が誕生し、新たな活性化策が求められていました。その一つとして、平成21年11月28日、市民主体により結成された「NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会」では、NHK大河ドラマの放送を眞田六文銭に因み、六が六つ並びの署名目標数（66万6666）を掲げ、当時不可能とされた全国展開を決めると共に、3年以内の目標達成を目指して活動に入りました。翌年8月、NHK大河ドラマ署名促進の観点から眞田幸村公による町づくりを標榜し、かつて市が導入を検討したねぷた祭りを「眞田幸村公出陣ねぷた」と称して開催いたしました。この間、上小建設労働組合（細井武夫組合長）の皆さんには、ねぷた本体の製作を担当していただきました。ねぷた絵は、本場弘前市へ竹鼻靖之・照井正夫両氏が出向いて習得され、小・中・高の児童生徒の皆さん等に熱心にご指導をしていただきました。ねぷた祭りは、夏祭り1回、秋祭り6回の計7回開催しましたが、第1回目では、現世界女子スピードスケート500mチャンピオン小平奈緒選手から元気が出るスピーチをいただき、その後、上田駅にメイン会場を移し信州眞田鉄砲隊の演武（於：旧イトーヨーカ堂跡地）等を行ない、新たな話題を提供しながら実施いたしました。また、松代の眞田まつり槍振り保存会を始め眞田氏関係団体や太鼓団体、長野計器(株)、上田日本無線(株)など市内企業、市消防団、民踊連合会、壮年ソフト神川リーグ、スポーツ少年団等多数の団体、そして大勢の市民の皆さんにご参加をいただき盛大に開催いたしました。ねぷたは、木曾義仲信州丸子会や常田凧保存会並びに上田原及び諏訪形自治会、家氏隊、上田商工会議所青年部等に加わっていただきました。ねぷた祭りのあり方については、開催当初から市に対し市内行事全般の中で誘客が促進できる合同イベントの開催を要望して参りました。しかし、他のイベントとの連携は大変難しいとの最終的な判断が示され、また、ねぷた本体のいたみもあり大河ドラマ終了を機に断腸の思いでねぷた祭りを終了することにいたしました。ご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

一方NHK大河ドラマの誘致活動は、大勢の皆さんの地域を愛する情熱とご努力によって大きなうねりを起こした結果、誰もが想像でき得ない3年以内での署名目標数を達成し、最終的にはNHK関係者いわく「驚異的な期間で驚異的な署名数」となって83万人余の署名を積み上げることができました。この署名活動により眞田人気の高さを実証させたことが、NHK側に放送を決断させた原動力になったと思います。願う会では、放送が決まった平成26年、市内全戸対象のアンケート調査を実施し、市民の皆さんの関心の高さを示す24%のご回答をいただき、その内容を市へ要望を行ないました。しかし、放送が決定した以降行政主導が鮮明となり、市民と行政が共に汗を流して作り上げる市民協働のチャンスを逃す結果となったことは課題として残りました。しかし市民力で上田地域の活性化を目指した活動は、大河ドラマ『眞田丸』の実現でその役割を果たしたと思います。テレビ平均視聴率16.6%、大河ドラマ館入館者数全国一の103万人。市内消費額67億円。テレビ放送に伴う知名度効果51億円。小説、雑誌等による効果十数億円などでありました。また、史跡や道路及び駐車場、案内看板やトイレ等の整備も行われ、更に観光ガイドやおもてなし武将隊等も大好評で観光地としての風格も格段に醸成されました。将来、本会の活動がまちづくり事業の参考になれば幸甚です。

結びにあたり長年にわたりご支援、ご協力を賜りました長野県様、上田市様、商工会議所様、自治会連合会様始め多くの企業、団体、グループの皆様、そして市民の皆様並びに全国のご支援をいただきました皆様に心から御礼を申し上げます。末筆で大変恐縮ですが、NHK大河ドラマ放映の要望に際して資料の作成に特にご尽力をいただきました土屋郁子・東井光司両氏に感謝申し上げますと共に本会並びにねぷた役員の皆様、長い間本当にありがとうございました。お疲れ様でした。